

令和2年度 第2回 美深町総合教育会議議事録

美深町総合教育会議を次のとおり開催したので、その記録を美深町総合教育会議設置及び運営に関する要綱第7条に基づき作成いたします。

1 開催日時 令和3年 3月25日(木) 午後4時30分～午後5時20分

2 開催場所 美深町役場 大会議室

3 出席者

役 職	氏 名
町長	山口 信 夫
教育長	草 野 孝 治
教育委員 (教育長職務代理者)	安 喰 俊 博
教育委員	清 水 満 寿 美
教育委員	坂 井 弘 明
教育委員	大 島 一 夫
総務課長	川 端 秀 司
総務課総務グループ主幹	小 林 一 仙
教育次長	望 月 清 貴
幼児センター長	田 澤 満
教育グループ主幹 (社会・体育)	大 堀 裕 康
教育グループ主幹 (学校)	和 田 政 則
学校給食センター長	中 山 裕 一 郎
幼児センター副センター長	富 田 由 佳
教育グループ副主幹 (学校)	久 保 元 樹
教育グループ副主幹 (学校)	野 村 薫

4 議 事

- (1) 美深町総合教育大綱について
- (2) 子育て支援事業の充実について
- (3) その他

5 報告事項

- (1) 英語教育の推進状況について
- (2) 特認校制度の検討状況について
- (3) その他
 - ・北京オリンピック海外選手直前合宿の動向について

6 会議記録

(1) 開 会 (午後4時30分)

総務課長 ただいまから、美深町総合教育会議を始めさせていただきます。本日の会議ですが、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、ドアを開けての開催とさせていただきますので、御了承いただきたいと思います。それでは開会にあたりまして、山口町長よりご挨拶を申し上げます。

(2) あいさつ

町 長 皆様ご苦勞様でございます。教育委員の皆様方には、日頃よりお世話になっておりますことを、感謝申し上げます。
今年度に入ってから2回目の総合教育会議となります。今日は2つほど協議事項を予定しております。1つ目は、第1回の会議でも申し上げましたが、新年度から始まる第6次総合計画に基づく、総合教育大綱を定めなければならないということで、よろしく願いいたします。また、2つ目は、幼児センターが実施している子育て支援事業の関係であります。幼児センターで今まで実施していたものが、若干手狭になってきたということもあり、保健センターの方でも週1回程度実施していきたい、という主旨でございます。また、報告事項であります。英語教育の推進、さらには仁宇布小中学校が検討している特認校制度の検討状況について、ご報告を申し上げます。また口頭になりますが、北京オリンピックの海外選手直前合宿の動向についても、ご報告申し上げます。
早速ですが、協議事項に入らせていただきます。
総務課長 それでは、議事に移らせていただきます。
ここからは、会議の議長であります山口町長に進行をお願いしたいと思います。町長、お願いいたします。

(3) 協議事項

①美深町総合教育大綱について

町 長 それでは協議事項(1)「美深町総合教育大綱について」別紙資料1に基づいての説明を、まずは事務局からさせていただきます。
教育次長 (「美深町総合教育大綱について」別紙により説明)
町 長 今担当から説明がありました、協議事項1の「美深町総合教育大綱について」ご質問等があれば受けたいと思います。なければそのまま承認という形にさせていただきます。よろしいですか。
(「なし」の声あり)
町 長 それでは(1)「美深町総合教育大綱について」は、この総合教育会議で正式決定という形になります。よろしいですか。
(「異議なし」の声あり)

②子育て支援事業の充実について

町 長 次に協議事項(2)「子育て支援事業の充実について」別紙資料2をもとに、担当からご説明させていただきます。
幼児センター長 (「子育て支援事業の充実について」別紙により説明)
町 長 ただ今幼児センター長から「子育て支援事業の充実について」説明がありました。何かご質問等あれば承りたいと思います。なければそのまま承認とい

う形にさせていただければと思います。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

町 長 それでは(2)「子育て支援事業の充実について」を正式決定という形にさせていただきますと思いますが、よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

町 長 次にその他ですが、特別ご用意しておりませんが、皆様から何かございますか。

(「なし」の声あり)

(4) 報告事項

①英語教育の推進状況について

町 長 それでは4の報告事項に入りたいと思います。(1)の「英語教育の推進状況について」担当から報告願います。

主幹(学校) (「英語教育の推進状況について」別紙により説明)

町 長 ただ今「英語教育の推進状況について」説明がありました。皆さんから何かご質問等があれば受けたいと思います。私の感想としては、中学校卒業時3級以上取得者が17人40.5%、そのうち6人が準2級を取得ということで、いい結果が出てきているのでは、と思います。何かあればお願いします。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

町 長 それでは報告事項ですので、(1)を終わらせていただきます。

②特認校制度の検討状況について

町 長 それでは(2)の「特認校制度の検討状況について」担当から報告願います。

主幹(学校) (「特認校制度の検討状況について」別紙により説明)

町 長 仁宇布小中学校の「特認校制度の検討状況について」今報告があったとおりでございます。皆さんから何かご質問等があれば受けたいと思います。教育委員会としては、今後とも検討を加えていく、ということですが、いつまでも検討、検討と言っているだけでは仕方がないので、なるべく早い機会に結論を出していかなければ、と思っております。今日の段階では報告に留まって、この次の総合教育会議の中で結論を出すような方向でお願いできればと思います。教育長から何かありますか。

教 育 長 仁宇布小中学校の学校運営協議会でも、合わせて研究、検討を進めていく、と示されておまして、地域の中でもそのように話されております。校長先生の考えですと、これから準備していくと令和4年ないしは5年からの導入になるかと、そのように話しをされています。目的に関してなのですが、例えば、制度導入校では実際どうなのかと確認をしたら、こういった目的ばかりではなく、特別支援学級の判定まではいかないが、普通学級での仲間とのコミュニケーションが難しいとか、障がいとまではいかないけれども、情緒に何かを持っているとか、ここの就学指定校、不登校やいじめまではいっていないけれど、学校に馴染めない、といった傾向にある子など、対人関係に課題を抱えてしまった場合、このままだと学校に行けなくなってしまうのではないかと、手遅れになる前に、義務教育を受けさせる機会を保障する必要がある、というようなことを学校側はお話ししていました。しかし、これを表の目的に出して不登校などが前面に出てくると、あまりいい印象を与えないということもありまして、その辺を少し丁寧に対応していかなければならない、という話がありました。名寄市では、小学校を中名寄に通った後に中学校を智恵文中に通う、といった状況があります。一方東神楽町では、特認校の入学生は今年度は0人。こちらでも少し変わった事情になっています。

旭川市については、富沢小学校ですが、仁宇布ほど市内から離れていません。旭川第5、桜岡は、市内から結構時間がかかるかと思います。上富良野の東中ですと、中富良野に近いという部分で、利便性が良いところにあるということ伺っています。いずれにしましても、このままだとだめになってしまいそうな状況にあるお子さんを、いったんその環境から離して自信を付けてから、また元のクラスに戻ってもらうという、そういった教育を提供する場を町としても保障していくことが必要ではないか、ということで学校では考えているということです。この後も他の町の状況等を調べながら、今町長がおっしゃったとおり、次の総合教育会議の中で一定程度の方向性が出るよう、研究協議をしていきたいと思っております。以上です。

町長 スクールバスで通っている子ども達が、さらに仁宇布まで通うとなると40分や50分、それ以上をかけて通うということになると、それを保護者が送り迎えをするというのも難しいだろう、と思われるのですが、その辺のことも加味しながら、この制度を検討していかなければならないと思っております。学校の意向はわかりましたので、なるべく次の総合教育会議の中で結論を出していければと思います。

この件につきまして、皆様方から何かございますか。

(「なし」の声あり)

町長 それでは、報告事項(2)を終わらせていただきます。

③その他

・北京オリンピック海外選手直前合宿の動向について

町長 次に、報告事項(3)その他の「北京オリンピック海外選手直前合宿の動向について」担当から報告願います。

主幹(社会・体育) 資料はございませんが、口頭でご報告申し上げます。来年の2月4日から2月20日まで、北京で冬季オリンピックが開催される予定です。前回のピョンチャンオリンピックの際に、美深町にFIS公認のエアリアルコースがあるということで、6カ国から事前合宿を実施してございます。北京オリンピックに関しましては、前回美深町で事前合宿を行ったチームと合わせて、もう1カ国程度が、今のところ合宿を行いたいという意向を持ってございます。ただ、その年の1月23日にモスクワでワールドカップが開催される予定ですので、何もなければ1月25日から美深に入りまして、1月31日には合宿を終える、というようになってございます。ただし、新型コロナウイルスの感染状況により、いろいろな制限がかかってきます。そういったことがなければ、前回と同じように美深町で受け入れ体制を整えて、支援を行っていきたいと考えておりますが、その辺を教育委員会、SAJ、スキー連盟とともに協議しながら進めていきたいと思っております。また今後何かあれば、教育委員の皆様にお伝えしていきたいと思っております。以上です。

町長 「北京オリンピック海外選手直前合宿の動向について」口頭での報告でありましたけれども、よろしいでしょうか。何かございますか。

(「なし」の声あり)

町長 以上が、本日の美深町総合教育会議の議題になります。

・意見聴取

- 町長 それでは、本日ご用意した議題につきましては以上となります。皆様方から全体を通しまして何かございますか。
- 教育長 せっかくの機会ですので、私から一言お話しさせてください。
これまで町長には、新型コロナウイルス感染症対策に関わる、数々の教育関連の緊急対策予算措置をご配慮いただき、教育委員会を代表して感謝申し上げます。とくに GIGA スクール構想の実現に向けた、ICT 教育推進のための学校のネットワーク環境と、タブレット端末を一人 1 台の整備ということで、児童、生徒、教員、ALT 分を合わせて 322 台を、2 月までに導入を完了いたしました。すでに学校で使用も開始されており、早速の予算対応に対し、お礼を申し上げたいと思います。
まだ道内外で、新型コロナウイルス感染症がなかなか終息しない中で、心配していました卒業式、卒園式を何とか終わることができました。引き続き理事者のご理解をいただきながら、今後とも子ども達や教職員の命と健康を最優先に、対応して参りたいと考えてございます。
あと、お手元に仁宇布小中学校 SGEC プロジェクト全体認証施設のパフレットを、皆様にお配りしてございます。懸案でございました仁宇布小中学校改築が、町長のご指導の下、年度内に無事完了いたしました。校舎の 70% 以上が森林認証を受けた地域産材を使用しており、認証制度管理機関であります SGEC の全体認証施設となり、昨日 24 日、同校で認証書の授与式が開催されたところです。大規模木造教育施設の建物、校舎全体の認証は全国初とのことで、新しい仁宇布小中学校の大きな魅力の一つとして、PR 効果を期待しているところでございます。今後、仁宇布だけの施設に留まらず、町の新たな財産として、林業の振興と連携して、価値ある学校のこの SGEC の認証施設を活用して参りたいと考えてございます。新年度、旧校舎の解体、体育館の非構造部材の耐震化工事、グラウンド外構工事など、雪解け早々に進めてまいりたいと考えてございます。これまでを含めまして、総事業費は 5 億 6 千万円を超える額を投じていただいたこととなります。すべての工事が完了した 10 月を目処に、落成式を予定しておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。私からは以上です。
- 町長 今、仁宇布小中学校が SGEC の認証を受けたという報告を受けたところですが、これについてもよろしいですね。
今日の会議はこれで終わらせていただきたいと思います。他に何かございますか。
(「なし」の声あり)
- 町長 まだまだ教育は深い意味でのいろいろな課題があるわけですが、何とか良い方向に向かってがんばっていきたいと思います。委員の皆様方にもご協力をお願い申し上げて、終わりのご挨拶とさせていただきたいと思います。
ありがとうございました。

◎ 閉 会 (午後 5 時 20 分)

- 総務課長 以上で令和 2 年度第 2 回美深町総合教育会議を終了させていただきたいと思
います。ありがとうございました。
-